

基礎臨床統合教育コースの評価について（令和6年度）

◆本試験

※すべての合計値で60%以上の得点をもって当該ブロックを合格とする。60%未満は、再試験対象となる。

※アクティブラーニングについては、ブロックごとに異なる。

対象学年	対象ブロック名	配点	評価内容・配点内訳	アクティブラーニングの配点内訳	アクティブラーニングの評価	確認テスト、定期試験（総括試験）
2	呼吸器系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション（40点：20%） Body Interact（40点：20%）	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 Body Interact：課題症例の得点	MCQ形式で実施する。
2	循環器系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション発表（40点） 学生がシナリオを作成するPBL（30点） 薬理学実習（10点）	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 学生がシナリオを作成するPBL：グループごとにループリックにより評価 学実習：実習での態度・積極性で評価する	薬理 MCQ形式で実施する。
3	膠原病/血液/感染症系の病態・診断・治療	400	確認テスト（40点：10%） 定期試験（総括試験）（200点：50%） アクティブラーニング（160点：40%）	ジャーナルクリエイション（80点：20%） 授業の態度・課題等（80点：20%）	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 授業の態度・課題：態度、膠原病/血液/感染症に関しては、各種課題結果を総合的に判断する。 ① リウマチ膠原病内科では、アドバンス講義の最後に小テストを行い、評価する。 ② 感染症内科では、アドバンス講義の最後にOne-Minute Paperを行い、評価する。 ③ 血液内科では画像テストを行い、評価する。	MCQ形式で実施する。
3	消化器/肝胆膵系の病態・診断・治療	300	確認テスト（30点：10%） 定期試験（総括試験）（150点：50%） アクティブラーニング（120点：40%）	①ジャーナルクリエイション（60点：20%） ②Body Interact（12点：6%） ③ハンズオンセミナー（4点：2%） ④CPC（4点：2%） ⑤外科手術・見学実習（4点：2%） ⑥トピック講義・ジョイント講義内演習（16点：8%）	①ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 ②Body Interact：課題症例の演習回数と事後課題の提出 ③セミナーでの学修内容の振り返りシート（Google form）を提出 ④CPC授業内課題提出（Google form） ⑤実習感想提出 ⑥講義内・課題提出	MCQ形式で実施する。
3	神経系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	①PBLシナリオクリエイション（40点：20%） ②Body Interact演習（20点：10%） ③神経内科診察技法（20点：10%）	①PBLシナリオクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 ②Body Interact：課題症例の演習回数と事後課題の提出 ③診察技法実習の振り返り	MCQ形式で実施する。
3	尿路・男性生殖系系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション（20点：10%） PBL（10点：5%） Body Interact（10点：5%） ハンズオンセミナー（25点：12.5%） 基礎臨床統合講義（5点：2.5%） 腎炎演習（10点：5%）	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 PBL：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 Body Interact：課題症例の得点	MCQ形式で実施する。
3	糖尿病・代謝・内分泌系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	薬理学EBM演習 態度・課題（40点：20%） 授業の態度・課題（40点：20%）	薬理学EBM演習：グループごとにループリックにより評価 成果物、準備態度、発表・質疑応答の積極性などの態度を総合的に評価する。	MCQ形式で実施する。
3	皮膚・運動器系の病態・診断・治療	300	確認テスト（30点：10%） 定期試験（総括試験）（150点：50%） アクティブラーニング（120点：40%）	1. ジャーナルクリエイション（60点：20%） 2. ジョイント講義に関するone minutes report（40点：13%）各科10点 3. 授業・実習（アクティブ・ラーニング）の態度、パフォーマンスレベル（20点：7%）各科 5点	1. ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表を、ループリックにより評価 2. ジョイント講義後に記載させるone minutes reportの点数 3. 態度や実習のパフォーマンスの点数	MCQ形式で実施する。
3	女性医療系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション（40点：20%） Body Interact（20点：10%） 産婦人科プレゼンテーション（20点：10%）	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価 Body Interact：課題症例の得点 その他は当日・後日提出物で評価	MCQ形式で実施する。
3	精神医療系の病態・診断・治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	症候学・PBL授業の態度・課題（60点：30%） その他の授業の態度・課題（20点：10%）	成果物、準備態度、発表・質疑応答の積極性などの態度を総合的に評価する。	MCQ形式で実施する。
3	小児系の病態・診断・治療	300	確認テスト（30点：10%） 定期試験（総括試験）（150点：50%） アクティブラーニング（120点：40%）	ジャーナルクリエイション（60点：20%） 画像診断クイズ、ジョイント講義、ハンズオンセミナー等（60点：20%）	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ループリックにより評価。 画像診断クイズでの得点。	MCQ形式で実施する。

基礎臨床統合教育コースの評価について（令和6年度）

◆本試験

※すべての合計値で60%以上の得点をもって当該ブロックを合格とする。60%未満は、再試験対象となる。

※アクティブラーニングについては、ブロックごとに異なる。

対象 学年	対象ブロック名	配点	評価内容・配点内訳	アクティブラーニングの配点内訳	アクティブラーニングの評価	確認テスト、 定期試験（総括試験）
4	感覚器系の病態・診断・治療	300	確認テスト（30点：10%） 定期試験（総括試験）（150点：50%） アクティブラーニング（120点：40%）	ジャーナルクリエイション（60点：20%） 症候学、ジョイント講義、ハンズオン（60点：20%）	ジャーナルクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ルーブリックにより評価。 症候学、ジョイント講義、ハンズオン：出席、態度、課題を総合的に判断する。	MCQ形式で実施する。
4	麻酔・救急・集中治療系の病態・ 診断・治療	300	確認テスト（30点：10%） 定期試験（総括試験）（150点：50%） アクティブラーニング（120点：40%）	PBLシナリオクリエイション（60点：20%） ジョイント講義、ハンズオン（60点：20%）	PBLシナリオクリエイション：プロダクトの内容と発表内容を、ルーブリックにより評価。 ジョイント講義、ハンズオン：出席、態度、課題を総合的に判断する。	MCQ形式で実施する。
4	腫瘍・緩和医療系の病態・診断・ 治療	200	確認テスト（20点：10%） 定期試験（総括試験）（100点：50%） アクティブラーニング（80点：40%）	ロールプレイクリエイション（40点：20%） エキスパート・パネル（20点：10%） アドバンスト講義（20点：10%）	ロールプレイクリエイション：企画内容と当日の発表（ロールプレイ・質疑応答）をルーブリックで評価する。 エキスパート・パネル：出席、態度、課題を総合的に判断する。 アドバンスト講義：出席、態度、課題を総合的に判断する。	MCQ形式で実施する。
4	社会医学	300	確認テスト（30点：10%） 定期試験（総括試験）（150点：50%） アクティブラーニング（120点：40%）	衛生学公衆衛生学(30点：10%) 演習(バーチャル嘱託産業医)(30点) 法医学(60点：20%) 法医学PBL(25点)、死亡診断・死体検案と法医解剖(25点)、 法医学実習(10点)、臨床薬理学(30点：10%) 演習(処方箋作成)(10点)、演習(副作用被害救済)(20点)	演習(バーチャル嘱託産業医)：産業医による健康講話年間スケジュール作成の課題により評価。 法医学PBL：出席と課題による評価。 死亡診断・死体検案と法医解剖：死亡診断書の課題により評価。 法医学実習：出席と態度評価および実験結果に対する考察。 演習(処方箋作成)：出席と態度評価により評価。 演習(副作用被害救済)：副作用被害救済の課題により評価。	MCQ形式で実施する。

基礎臨床統合教育コースの評価について（令和6年度）

◆再試験

※すべての合計値で60%以上の得点をもって当該ブロックを合格とする。

対象 学年	対象ブロック名	配点	評価内容・配点内訳	アクティブラーニングの配点内訳	アクティブラーニングの方法	総括試験再試験
2	呼吸器系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション関連課題（40点：20%） Body Interact（40点：20%）	ジャーナルクリエイションの再提出、Body Interactの再実施	MCQ形式で実施する。
2	循環器系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション（80点：40%）	症例のプレゼンテーションとブロック担当教員からの質疑に対する応答を評価	MCQ形式で実施する。
3	膠原病/血液/感染症系の病態・診断・治療	400	総括試験再試験（240点：60%） アクティブラーニング（160点：40%）	ジャーナルクリエイション（160点：40%）	ジャーナルクリエイションの再提出	MCQ形式で実施する。
3	消化器/肝胆膵系の病態・診断・治療	300	総括試験再試験（180点：60%） アクティブラーニング（120点：40%）	①ジャーナルクリエイション再提出（60点：20%） ②Body Interact再演習（60点：20%）	ジャーナルクリエイションの再提出 Body Interactの再実施	MCQ形式で実施する。
3	神経系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	PBLシナリオクリエイション（40点：20%） Body Interact（40点：20%）	シナリオクリエイションの再提出、Body Interactの再実施	MCQ形式で実施する。
3	尿路・男性生殖器系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション（80点：40%）	ジャーナルクリエイションの再提出	MCQ形式で実施する。
3	糖尿病・代謝・内分泌系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	薬理学EBM演習、その他授業に関する口頭試問、 課題の再提出（80点：40%）	口頭試問、再提出された課題を総合的に評価する。	MCQ形式で実施する。
3	皮膚・運動器系の病態・診断・治療	300	総括試験再試験（180点：60%） アクティブラーニング（120点：40%）	1. ジャーナルクリエイション関連課題（60点：20%） 2. ジョイント講義に関するone minutes report再提出（60点：20%）	1. ジャーナルクリエイションの再提出 2. One minutes reportの点数	MCQ形式で実施する。
3	女性医療系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	ジャーナルクリエイション関連課題（40点：20%） Body Interact（40点：20%）	ジャーナルクリエイションの再提出、Body Interactの再実施	MCQ形式で実施する。
3	精神医療系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	症候学、PBL、その他の授業に関する口頭試問、 課題の再提出（80点：40%）	口頭試問、再提出された課題を総合的に評価する。	MCQ形式で実施する。
3	小児系の病態・診断・治療	300	総括試験再試験（180点：60%） アクティブラーニング（120点：40%）	ジャーナルクリエイション関連課題（120点：40%）	ジャーナルクリエイションの再提出。	MCQ形式で実施する。
4	感覚器系の病態・診断・治療	300	総括試験再試験（180点：60%） アクティブラーニング（120点：40%）	ジャーナルクリエイション関連課題（60点：20%） 口頭試問、課題の再提出（60点：20%）	ジャーナルクリエイションの再提出。 口頭試問、再提出された課題を総合的に評価する。	MCQ形式で実施する。
4	麻酔・救急・集中治療系の病態・診断・治療	300	総括試験再試験（180点：60%） アクティブラーニング（120点：40%）	ジャーナルクリエイション関連課題（60点：20%） 口頭試問、課題の再提出（60点：20%）	シナリオクリエイションの再提出。 口頭試問、再提出された課題を総合的に評価する。	MCQ形式で実施する。
4	腫瘍・緩和医療系の病態・診断・治療	200	総括試験再試験（120点：60%） アクティブラーニング（80点：40%）	ロールプレイクリエイション（80点：40%）	グループで実施したロールプレイについての口頭試問。	MCQ形式で実施する。
4	社会医学	300	総括試験再試験（180点：60%） アクティブラーニング（120点：40%）	衛生学公衆衛生学(30点：10%) 課題の再提出(30点) 法医学(60点：20%) 死亡診断・死体検案と法医解剖(60点) 臨床薬理学(30点：10%) 演習(副作用被害救済)(30点)	衛生学公衆衛生学；産業医による健康講話年間スケジュール作成の課題により評価。 法医学：死亡診断書の課題により評価。 臨床薬理学：副作用被害救済の課題により評価。	MCQ形式で実施する。

※アクティブラーニング再試験については、本試験判定発表後、各ブロック教員が、再試験日までに実施する。（別途教員から学生に指示をする。）